セルフエスティーム測定尺度作成に関する予備的研究
−注意欠陥多動性障害児のセルフエスティーム測定をめざして−

我妻則明*・柳田祐子**・伊藤道子***

（2005年2月3日受理）

Noriaki AZUMA, Yuuko YANAGIDA, Michiko ITO

A Pilot Study of the Scale to Measure Self-esteem
− Aiming at Measuring the Self-esteem of Children with ADHD −

はじめに

注意欠陥多動性障害（以下ＡＤＨＤ）は，集中力・注意力・衝動性・多動性をコントロールできない脳神経学的な障害である（田中・高山，1999）。ＡＤＨＤ児が小さい頃から他の子どもの何倍も叱られて育っているという指摘は多く，ＡＤＨＤ児の自尊心の傷つきと低下は幼児期から始まっているとされている（齋藤，2002）。上林（2002）によれば，ＡＤＨＤ児が適切な対応がなされないまま小学校の３～４年まで過ごしてしまうと，学業不振に陥るばかりか，親と先生の期待にそぐわない行動で叱られ，仲間からも受け入れられなくなる。その結果，「自分はみんなのようにうまくやれない，だめなんだ」と自己評価が低下すると言う。

ＡＤＨＤ児のセルフエスティームを低下させないための方法として，セリコウィッツ（2000）は，達成可能な目標を置くこと，自分自身をほめることを教える必要があるという。田中・高山（1999）は，セルフエスティームをはぐくむために，集団の中ではずかしい経験をしないよう配慮すること，よい行動はすぐその場で絶賛することなどを提案している。またFrankelら(1999)によれば，stimulantを処方されたＡＤＨＤ児は，対象群に比べより利口になり評判がよくなったと報告している。

鈴木・中野（2002）は，ＡＤＨＤ児をほめることに焦点を当てた関わりを通して，自尊心の構造と程度を客観化するために自尊心尺度を導入する必要があることを指摘している。しかし，標準化されたセルフエスティーム尺度はわが国にはない。菅（1976）は，質問紙法によって測定されたセルフエスティームと，投影法によって測定されたセルフエスティームとの間にどのような関連性があるか研究している。ここで使用された尺度は，質問紙法として文章完成法テスト，投影法としてロールシャッハ・テスト，バウム・テストである。質問紙法による主要な尺度としては，Rosenbergの自尊心尺度の邦訳版があげられるが，妥当性と信頼性に疑問がある。その理由として，質問項目数が10項目と非常に少ない。また，民族の伝統や文化の影響などによるセルフエスティームの変異を，任意の一つの尺度で正確に測定することが可能か，という懐疑も唱えられている（田中，2000）。大曲ら（2002）は，中学一年生の道徳の授業において，社会的スキルの習得とセルフエスティームとの関係について

＊岩手大学教育学部　＊＊岩手県庁農林水産部　＊＊＊岩手大学大学院教育学研究科

検証している。ここではRosenbergの尺度が使用されているが，不適切な項目を除いている。

よって，学齢児とくにＡＤＨＤ児のセルフエスティームを測定するためには，新たに尺度を作成する必要があると考えられる。

1　先行研究

一般に低下しやすいといわれているＡＤＨＤ児のセルフエスティームに関する先行研究はわずかである。

海外の文献について，石川（2002）は2000年以前の自尊心を心理の問題として考えるものと2000年以降の自尊心を脳・神経の問題として考えるものとに二分している。心理の問題として，ＡＤＨＤ児の低い自尊心，ネガティブな自己像は，周りにそうみなされていることで形成されるという。脳・神経の問題として，自尊心は，脳の一部である前頭前野が徐々に力を発揮させた結果形成された「実行機能」の一つであるととらえる。ＡＤＨＤの脳では実行機能に一貫性がないため，低い自尊心が現れることになるという。中根（2002）によれば，ＡＤＨＤの併発症に注目した研究では，自己評価の得点が低いとされるのは気分障害や不安障害を併発した場合であり，併発症のない場合には対照群とに有意な差はないとしている。またＡＤＨＤとの合併例が多く認められる学習障害（以下ＬＤ）について伊藤（1999）によれば，1970年代後半から1990年代にかけて行われたＬＤ児の自己評価，自尊感情，コンピテンスの研究結果では，一貫した傾向は打ち出されていない。この結果について伊藤は測定に用いられた指標が多様で，測定しているものが同一でないことと，対象となるＬＤ児群の症状や質が多様であることを指摘している。

国内の文献では，増田・福原・望月（1998）は，学童期ＡＤＨＤ患者に対して自己尊重測定・エゴグラム検査・文章完成テストを用いて健常学童と比較した結果，ＡＤＨＤ患者の自己尊重得点は決して低くないと報告している。岡本（2001）は，入院期間中の学童期ＡＤＨＤ児に対してユースセルフレポート検査による追跡調査を実施し，子どもの問題行動の改善は目に見えにくいが，自己洞察に変化があることを明らかにしている。

このように，ＡＤＨＤ児のセルフエスティームに関しては，健常学童と比較して高いのかあるいは低いのか結果が不一致である。

これは，やはりＡＤＨＤ児のセルフエスティームを測定できる妥当性と信頼性のある尺度がないことが，大きな要因であると考えられる。

2　方　法

(1)　構成概念の明確化

セルフエスティームとは日本にはない概念であり，自己評価，自己価値観，自尊心，自己効力感などの訳語になっているが，原語の一部しか表現していない。セルフエスティームとは，外見・性格・長所・弱点・障害・特技など，自分のすべての要素をもとに作られる自己イメージに対して，自分の価値を評価し自分を大切にしようと思う気持ちである（高山，1999）。

(2)　項目候補の収集

関連尺度の項目を参照に項目群の作成をする。関連尺度として，堀(2001ａ)でセルフエスティー

ムを測定しているとして挙げられている自尊心尺度・自己受容測定尺度・特性的自己効力感尺度とインターネットの調査によって発見したSelf-esteem Statement（The Barksdale Foundation）・Self-esteem Self-Evaluation（Mountain View Hospital）から項目を収集。計125項目。

なお，Self-esteem Statement,Self-esteem Self-Evaluationに関しては，柳田が邦訳後，両尺度において内容が重複していると思われる項目を削除・修正して一つの尺度にまとめた。これを，仮にSelf-Esteem尺度とする。

(3) 項目の決定

項目に基づいて質問紙を作成して，平成15年10月，Ｉ大学教育学部一年次37名を対象にプレテストを実施。統計処理した後，適切な項目を選択する。その手順は，堀（2001ｂ）によって以下の通りである。

項目の反応分布　反応分布が正規から大きく外れて偏りのみられる項目を排除する。また，回答漏れや回答拒否の多いもの，「どちらともいえない」といった表現に集中する場合には，項目の意味が理解されにくかったと考え，削除の対象となる。

Ｇ－Ｐ分析　特定の一つの項目の得点の動きが，全体得点の動きと関連しているかどうか確認する。すべての項目の合計得点を算出して，平均値を基準にサンプルを上位群，下位群とに分ける。検定で両群間に差がない場合は，全体の変動と当該項目の変動は関連しておらず，削除の対象となる。

Ｉ－Ｔ（項目－全体）相関分析　目的はＧ－Ｐ分析と同じ。項目全体得点と各単一項目との相関係数を求めて，相関の低い項目を削除する。この場合の相関係数はピアソン積率相関係数を算出する。

3　結　果

(1) 項目の反応分布

表１に示す通り，評定結果が極端に集中する項目はなかったため，この時点で削除されるべき項目はなかった。

(2) Ｇ－Ｐ分析

表２に示す通り，５％水準でのｔ検定の結果，自尊感情尺度から１項目，特性的自己効力感尺度から５項目，自己受容測定尺度から14項目，Self-Esteem尺度から６項目，計26項目が選択された。

(3) Ｉ－Ｔ（項目－全体）相関分析

今回のデータは相関係数が0.1でも有意となり判定基準を通過してしまう場合があるので，内的一貫性を高めるため判定基準を0.3とした。表２に示す通り，相関係数が0.3以上であったのは，自尊感情尺度で６項目，特性的自己効力感尺度で７項目，自己受容測定尺度で24項目，Self-Esteem尺度で10項目であり，計47項目が選択された。

(4) 総合結果

項目の反応分布，Ｇ－Ｐ分析，Ｉ－Ｔ相関分析において，３つの分析方法をすべて満たす項目は，

計25項目が選択され，それらの項目は表３に示す通りである。25項目中，自尊感情尺度からは１項目，特性的自己効力感尺度からは５項目，自己受容測定尺度からは14項目，Self-Esteem 尺度からは５項目が選択された。

4 考 察

削除の対象となった項目について，その理由を考察する。

(1) 自尊感情尺度

自尊感情尺度は Rosenberg の尺度を邦訳したものである。Rosenberg は，自身を「非常によい」と感じることではなく，「これでよい」と感じる程度がセルフエスティームの高さを示すと考えている。ただし，この尺度をわが国で使用するにあたっては，表現する検討し直す必要があると考えられる。

なお，項目８について田中（2000）によれば，尊敬という言葉が被験者にとっては高次な意味に反映しており，尊敬するのは自分ではなく自分以外の他者であるという認識が強いことが伺えたという。つまり，日常語としての違和感が推察されたということであり，現実に即した言葉に置き換えることも考えられるが，既存の尺度の項目を修正し再構築するには一定の手続きが求められるため検討が必要である。

(2) 特性的自己効力感尺度

特性的自己効力感尺度については，「行動を起こす意志」，「行動を完了しようと努力する意志」，「逆境における忍耐」などから構成されているため，セルフエスティーム測定尺度としては不適切な項目が多かったと考えられる。

(3) 自己受容測定尺度

項目内容の解釈の仕方が，被験者によって多種多様であったと考えられる。

(4) Self-Esteem 尺度

Self-Esteem 尺度は，アメリカの病院・財団で作成されたものであるため，アメリカでの人間関係のあり方と日本でのそれとを比較した場合に，日本で使用する尺度としては不適切だと考えられる項目が多かった。また，項目内容に二重否定が多いため，回答する際にわかりづらかったと思われる。

おわりに

本研究では，注意欠陥多動性障害児のセルフエスティーム測定尺度を作成するにあたり，項目を決定するためのプレテストを実施した。今後の課題として，数百人規模のサンプルを確保した上で，因子分析を行い内的一貫性の高い尺度を構成すること，信頼性と妥当性の検討が上げられる。

また，注意欠陥多動性障害児と健常児とのセルフエスティームを比較するためにも，小学生を対象とした理解しやすい文章に訂正する必要があると考えられる。

本研究はセルフエスティーム尺度を作成するための予備的研究であったが，今後も検討を重ね，有用性の高い尺度になることを願う。

【引用文献】

Frankel F. , Cantwell D. P. , Myatt R. , and Feinberb D. T. (1999) Do Stimulants Improve Self-Esteem in Children with ADHD and Peer Problems?. Journal of Child and Adolescent Psychopharmacology, 9(3), 185−194.

堀弘道監・山本眞理子編（2001ａ）心理測定尺度集Ⅰ−人間の内面を探る〈自己・個人内過程〉−．サイエンス社，26−43.

堀弘道監・松井豊編（2001ｂ）心理測定尺度集Ⅲ−心の健康をはかる〈適応・臨床〉−．サイエンス社，397−408.

石川元（2002）子どもの自尊心への対応．実践障害児教育，350，28−31.

伊藤佐知子（1999）低年齢学習障害児男子のコンピテンスに関する研究．ＬＤ（学習障害）−研究と実践−，8(1)，57−65.

上林靖子（2002）ＡＤＨＤ．こころの科学，(106)，94−100.

セリコウィッツ（2000）中根晃・山田佐登留訳　ＡＤＨＤの子どもたち．金剛出版.

増田ユキ子・福原昭二・望月紀子（1998）注意欠陥多動性障害（ＡＤＨＤ）患者の自己評価−自己尊重測定とエゴグラム・ＳＣＴ検査−．小児看護，29，70−72.

中根晃（2002）ＡＤＨＤの治療−精神医学的立場から−．臨床心理学，2(5)，617−625.

岡本隆寛（2001）注意欠陥多動性障害児の入院治療における自己洞察の変化−ユース・セルフレポート検査より−．日本精神科看護学会誌，44(2)，603−607.

大曲美佐子・内山裕之・今里正博・増田和幸・山下耕三・石丸幸勢・御園文一・増田優子（2002）道徳教育におけるセルフエスティーム育成に関する効果的な授業の開発とその評価．人間科学研究，10(1)，49−63.

齊藤万比古（2002）医療におけるＡＤＨＤと不登校の位置関係．現代のエスプリ，(414)，93−100.

菅佐和子（1976）心理テストによって測定されたSelf-Esteemの研究．京都大学教育学部紀要，22，64−71.

鈴木智子・中野明徳（2002）学習障害，注意欠陥／多動性障害の子どもたちの自尊心−「ほめる」ことに焦点を当てた関わり−．福島大学教育実践研究紀要（42)，71−78.

高山恵子（1999）今，親にできること：よりよい親子関係のために．えじそんくらぶ.

田中康雄・高山恵子（1999）ボクたちのサポーターになって!!．えじそんくらぶ.

田中道弘（2000）自己の評価的態度に見られる向上心−Self-esteem尺度を援用した基礎研究−．人間科学論及，8，71−78.

表1 項目の反応分布

		1		2		3		4		5	
	（自尊感情尺度）	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1	少なくとも人並みには、価値のある人間である。	2	5.4	3	8.1	16	43.2	9	24.3	7	18.9
2	色々な良い素質をもっている。	3	8.1	9	24.3	9	24.3	13	35.1	3	8.1
3	敗北者だと思うことがよくある。	6	16.2	7	18.9	6	16.2	10	27.0	8	21.6
4	物事を人並みには、うまくやれる。	2	5.4	10	27.0	13	35.1	8	21.6	4	10.8
5	自分には、自慢できるところがあまりない。	2	5.4	7	18.9	4	10.8	13	35.1	11	29.7
6	自分に対して肯定的である。	7	18.9	6	16.2	12	32.4	5	13.5	7	18.9
7	だいたいにおいて、自分に満足している。	8	21.6	13	35.1	7	18.9	6	16.2	3	8.1
8	もっと自分自身を尊敬できるようになりたい。	1	2.7	1	2.7	5	13.5	5	13.5	25	67.6
9	自分は全くだめな人間だと思うことがある。	3	8.1	8	21.6	5	13.5	7	18.9	14	37.8
10	何かにつけて、自分は役にたたない人間だと思う。	3	8.1	11	29.7	10	27.0	6	16.2	7	18.9
	（特性的自己効力感尺度）										
1	自分が立てた計画はうまくできる自信がある。	6	16.2	11	29.7	10	27.0	9	24.3	1	2.7
2	しなければならないことがあっても、なかなかとりかからない。	1	2.7	4	10.8	4	10.8	15	40.5	13	35.1
3	初めはうまくいかない仕事でも、できるまでやり続ける。	1	2.7	3	8.1	16	43.2	11	29.7	6	16.2
4	新しい友達を作るのが苦手だ。	4	10.8	7	18.9	6	16.2	9	24.3	11	29.7
5	重要な目標を決めても、めったに成功しない。	4	10.8	7	18.9	10	27.0	12	32.4	4	10.8
6	何かを終える前にあきらめてしまう。	5	13.5	14	37.8	10	27.0	7	18.9	1	2.7
7	会いたい人を見かけたら、向こうから来るのを待たないでその人のところへ行く。	8	21.6	9	24.3	3	8.1	9	24.3	8	21.6
8	困難に出会うのを避ける。	1	2.7	9	24.3	9	24.3	11	29.7	7	18.9
9	非常にややこしく見えることには、手を出そうとは思わない。	2	5.4	10	27.0	5	13.5	12	32.4	8	21.6
10	友達になりたい人でも、友達になるのが大変ならばすぐに止めてしまう。	5	13.5	10	27.0	9	24.3	9	24.3	4	10.8
11	面白くないことをする時でも、それが終わるまでがんばる。	2	5.4	9	24.3	8	21.6	13	35.1	5	13.5
12	何かしようと思ったら、すぐにとりかかる。	1	2.7	15	40.5	12	32.4	6	16.2	3	8.1
13	新しいことを始めようと決めても、出だしでつまづくとすぐにあきらめてしまう。	2	5.4	8	21.6	15	40.5	11	29.7	1	2.7
14	最初は友達になる気がしない人でも、すぐにあきらめないで友達になろうとする。	7	18.9	12	32.4	11	29.7	5	13.5	2	5.4
15	思いがけない問題が起こった時、それをうまく処理できない。	1	2.7	8	21.6	9	24.3	16	43.2	3	8.1
16	難しそうなことは、新たに学ぼうと思わない。	7	18.9	13	35.1	8	21.6	7	18.9	2	5.4
17	失敗すると一生懸命やろうと思う。	2	5.4	4	10.8	12	32.4	9	24.3	10	27.0
18	人の集まりの中では、うまく振舞えない。	1	2.7	5	13.5	8	21.6	16	43.2	7	18.9
19	何かしようとする時、自分にそれができるか不安になる。	2	5.4	1	2.7	1	2.7	16	43.2	17	46.0
20	人に頼らない方だ。	6	16.2	12	32.4	9	24.3	0	0.0	10	27.0
21	私は自分から友達をつくるのがうまい。	14	37.8	10	27.0	9	24.3	3	8.1	1	2.7
22	すぐにあきらめてしまう。	6	16.2	11	29.7	10	27.0	7	18.9	3	8.1
23	人生で起きる問題の多くは処理できるとは思えない。	9	24.3	10	27.0	10	27.0	5	13.5	3	8.1
	（自己受容測定尺度）										
1	年齢	1	2.7	8	21.6	4	10.8	8	21.6	16	43.2
2	性別	0	0.0	4	10.8	6	16.2	8	21.6	19	51.4
3	体力	11	29.7	16	43.2	5	13.5	3	8.1	2	5.4
4	健康状態	4	10.8	12	32.4	6	16.2	5	13.5	10	27.0
5	顔立ち	7	18.9	11	29.7	6	16.2	10	27.0	3	8.1
6	体つき	15	40.5	12	32.4	4	10.8	5	13.5	1	2.7

7	知性（学力）	7	18.9	15	40.5	6	16.2	7	18.9	2	5.4
8	運動能力	15	40.5	11	29.7	1	2.7	9	24.3	1	2.7
9	服装	8	21.6	11	29.7	11	29.7	5	13.5	2	5.4
10	職業（学生・主婦・無職などの場合も含む）	2	5.4	5	13.5	5	13.5	10	27.0	15	40.5
11	経済状態	10	27.0	7	18.9	5	13.5	10	27.0	5	13.5
12	性的能力（魅力）	10	27.0	10	27.0	14	37.8	3	8.1	0	0.0
13	家族	1	2.7	1	2.7	4	10.8	9	24.3	22	59.5
14	住居	3	8.1	9	24.3	3	8.1	6	16.2	16	43.2
15	人間関係	3	8.1	10	27.0	11	29.7	6	16.2	7	18.9
16	生き方	2	5.4	13	35.1	10	27.0	6	16.2	6	16.2
17	社会的地位（立場）	4	10.8	4	10.8	14	37.8	8	21.6	7	18.9
18	やさしさ	4	10.8	6	16.2	6	16.2	15	40.5	6	16.2
19	まじめさ	4	10.8	8	21.6	11	29.7	11	29.7	3	8.1
20	明るさ	3	8.1	7	18.9	12	32.4	10	27.0	5	13.5
21	積極性（自分から進んで行動すること）	5	13.5	16	43.2	7	18.9	4	10.8	5	13.5
22	協調性（人との関係がうまくやれること）	6	16.2	8	21.6	5	13.5	15	40.5	3	8.1
23	情緒安定度（気持ちがいつも落ち着いていること）	7	18.9	12	32.4	6	16.2	8	21.6	4	10.8
24	忍耐力（がまんする力）	4	10.8	9	24.3	1	2.7	15	40.5	8	21.6
25	指導力（リーダーとして人をひっぱる力）	6	16.2	14	37.8	11	29.7	5	13.5	1	2.7
26	のんきさ	4	10.8	4	10.8	7	18.9	12	32.4	10	27.0
27	決断力（迷わないで物事を決める力）	9	24.3	15	40.5	6	16.2	4	10.8	3	8.1
28	思いやり	2	5.6	8	22.2	6	16.7	10	27.8	10	27.8
29	責任感	2	5.4	8	21.6	10	27.0	11	29.7	6	16.2
30	やる気	1	2.7	12	32.4	9	24.3	9	24.3	6	16.2
31	男または女としての自分	7	18.9	6	16.2	14	37.8	6	16.2	4	10.8
32	親に対する子どもとしての自分	5	13.5	8	21.6	7	18.9	12	32.4	5	13.5
33	兄弟の一員としての自分（一人子の場合も含む）	5	13.5	7	18.9	5	13.5	12	32.4	8	21.6
34	過去の自分	9	24.3	13	35.1	6	16.2	7	18.9	2	5.4
35	現在の自分	6	16.2	10	27.0	13	35.1	3	8.1	5	13.5

（Self-Esteem 尺度）

1	私は他人より劣っていると感じる。	3	8.1	3	8.1	9	24.3	16	43.2	6	16.2
2	私は裕福で幸せだといつも思っている。	5	13.5	8	21.6	11	29.7	9	24.3	4	10.8
3	私は新しい環境に慣れるのがしばしば苦手である。	3	8.1	4	10.8	7	18.9	8	21.6	15	40.5
4	私は会う人にはみな親しさをいつも感じる。	9	24.3	18	48.7	8	21.6	1	2.7	1	2.7
5	私は自分の間違いや欠点をいつも責めるくせがある。	2	5.4	7	18.9	10	27.0	6	16.2	12	32.4
6	私は恥ずかしさ、他人のあら探し、罪の意識、後悔とは無縁である。	19	51.4	13	35.1	4	10.8	0	0.0	1	2.7
7	私は自分の価値や長所を証明する必要があると強く感じる。	8	21.6	9	24.3	10	27.0	6	16.2	4	10.8
8	私は毎日の生活に大きな喜びと魅力を感じている。	6	16.2	10	27.0	13	35.1	6	16.2	2	5.4
9	私は他人が自分に対して感じていることや言うことが非常に気になる。	1	2.7	1	2.70	4	10.8	16	43.2	15	40.5
10	私は他人の間違いをそのままにしておくことができる。	1	2.7	9	24.3	11	29.7	11	29.7	5	13.5
11	私は認められることや、受け入れられることを強く望んでいる。	1	2.7	0	0.0	5	13.5	14	37.8	17	46.0
12	私は気持ちの焦り、悩み、不満とはたいてい無縁である。	23	62.2	12	32.4	1	2.7	1	2.7	0	0.0
13	私は失敗すると、怒りや劣等感を感じる。	2	5.4	3	8.1	6	16.2	14	37.8	12	32.4
14	私はいつも自信をもって新しいことに挑戦できる。	6	16.2	22	59.5	4	10.8	4	10.8	1	2.7
15	私は他人を非難したり、文句を言ったりすることがよくある。	7	18.9	8	21.6	6	16.2	13	35.1	3	8.1
16	私は自分のことは自分で決定し、実行する。	1	2.7	6	16.2	11	29.7	11	29.7	8	21.6
17	私は他人に富や名声をゆずりわたすことがよくある。	5	13.5	7	18.9	18	48.7	6	16.2	1	2.7
18	私は自分がしたことに責任をもつ。	0	0.0	5	13.5	11	29.7	15	40.5	6	16.2

19	私は外面を保つために、大げさに言ったり嘘をついたりする傾向がある。	4	10.8	13	35.1	5	13.5	11	29.7	4	10.8
20	私は自分の希望や要求を優先することができる。	3	8.1	13	35.1	12	32.4	9	24.3	0	0.0
21	私は自分の能力、地位、成績を低く評価しがちである。	3	8.1	6	16.2	16	43.2	7	18.9	5	13.5
22	私は自分の意見や信念を、自信をもって言うことができる。	4	10.8	14	37.8	10	27.0	6	16.2	3	8.1
23	私はいつも自分の間違いや欠点を否定したり、言い訳したり、正当化したり、または合理化したりする。	4	10.8	16	43.2	9	24.3	6	16.2	2	5.4
24	私は非常によく他人を批判したりけなしたりする。	11	29.7	16	43.2	6	16.2	4	10.8	0	0.0
25	私は愛情、怒り、敵意、恨み、喜びなどを思いのままに表現できる。	7	18.9	8	21.6	11	29.7	7	18.9	4	10.8
26	私は他人からの意見や評判、態度にとても傷つきやすい。	0	0.0	2	5.4	5	13.5	12	32.4	18	48.7
27	私は嫉妬やねたみ、疑いを抱くことはあまりない。	8	21.6	17	46.0	7	18.9	3	8.1	2	5.4
28	私は人を喜ばせることにかけてはプロ並みである。	9	24.3	12	32.4	14	37.8	2	5.4	0	0.0
29	私は人種、民族、宗教に偏見をもたない。	2	5.4	4	10.8	9	24.3	8	21.6	14	37.8
30	私は本当の自分を知られるのが怖い。	3	8.1	5	13.5	4	10.8	13	35.1	12	32.4
31	私は他人に対して愛想がよく、思いやりがあり、親切である。	1	2.7	7	18.9	19	51.4	10	27.0	0	0.0
32	私は自分の不利益や問題、間違いをよく他人のせいにする。	4	10.8	22	59.5	6	16.2	5	13.5	0	0.0
33	私は一人でいるのが好きで、不安になったり寂しく感じることはめったにない。	13	35.1	13	35.1	6	16.2	2	5.4	3	8.1
34	私は完全主義者である。	12	32.4	10	27.0	4	10.8	5	13.5	6	16.2
35	私は困惑したりお返しに悩んだりせずに、ほめ言葉や贈り物を受け取る。	5	13.5	10	27.0	14	37.8	4	10.8	4	10.8
36	私は食べたり飲んだり、タバコを吸ったり、話したりすることをやめたいときにやめることができない。	9	24.3	9	24.3	8	21.6	9	24.3	2	5.4
37	私は他人の成功や幸運を好ましく思う。	1	2.7	3	8.1	6	16.2	17	46.0	10	27.0
38	私は間違いや失敗が怖いので、新たな挑戦を避けがちである。	2	5.4	10	27.0	10	27.0	10	27.0	5	13.5
39	私はよく、家族や友人の行動に当惑させられる。	3	8.1	9	24.3	13	35.1	8	21.6	4	10.8
40	私は恥ずかしいと感じたり劣っていると感じたりすることなく、自分の間違いや欠点、短所を認める。	2	5.4	16	43.2	11	29.7	5	13.5	3	8.1
41	私は自分の行動、意見、信念を言い訳することがよくある。	5	13.5	12	32.4	15	40.5	4	10.8	1	2.7
42	私は反対や拒否をされても、「けなされた」または拒絶されたとは感じない。	6	16.2	18	48.7	6	16.2	6	16.2	1	2.7
43	私は賛成してもらっていることを確かめたいと思う。	2	5.4	2	5.4	9	24.3	18	48.7	6	16.2
44	私は新しい考えや計画を熱心に取り入れる。	2	5.4	6	16.2	14	37.8	9	24.3	6	16.2
45	私は他人と比較することで自分の価値を決める習慣がある。	7	18.9	2	5.4	7	18.9	16	43.2	5	13.5
46	私はどんな考えでも認めることができる。	1	2.7	13	35.1	14	37.8	6	16.2	3	8.1
47	私は自分の地位や成績など、自分自身についてよく自慢する。	9	24.3	20	54.1	6	16.2	2	5.4	0	0.0
48	私は何事でも自分自身で決定して、自分の好きなようにする。	4	10.8	11	29.7	12	32.4	5	13.5	5	13.5
49	私は細かいことを気にしない性格である。	6	16.2	12	32.4	4	10.8	12	32.4	3	8.1
50	私は他人と同じぐらいできる、または他人よりも優れていると証明する必要はない。	3	8.1	7	18.9	16	43.2	5	13.5	6	16.2
51	私は人から注目されたり、または自分の行動を好かれたりしようとは思っていない。	7	18.9	16	43.2	9	24.3	4	10.8	1	2.7
52	私は自分自身に対して思いやりがあり、自分を愛している。	9	24.3	7	18.9	13	35.1	5	13.5	3	8.1
53	私は他人が自分よりうまくやったり、お金があったり、人気もあるからといって、他人が自分より優れているとは思わない。	6	16.2	9	24.3	12	32.4	7	18.9	3	8.1
54	私は自分の好き嫌いをはっきり言う。	5	13.5	11	29.7	7	18.9	9	24.3	5	13.5
55	私はほめられることで自分を好ましく思いたいとは思わない。	5	13.5	14	37.8	9	24.3	7	18.9	2	5.4
56	私はいつも人を喜ばせる必要はないと思う。	11	29.7	5	13.5	10	27.0	8	21.6	3	8.1
57	私は自分や家族がしたこと、持っているものを自慢しない。	2	5.4	10	27.0	13	35.1	9	24.3	3	8.1

表2　G－P分析とI－T相関分析

	（自尊感情尺度）	t 検 定	相関係数
1	少なくとも人並みには、価値のある人間である。	14.2%	0.32#
2	色々な良い素質をもっている。	4.1%＊	0.34#
3	敗北者だと思うことがよくある。	89.2%	−0.15
4	物事を人並みには、うまくやれる。	6.8%	0.36#
5	自分には、自慢できるところがあまりない。	5.2%	−0.37#
6	自分に対して肯定的である。	55.1%	0.23#
7	だいたいにおいて、自分に満足している。	32.7%	0.34#
8	もっと自分自身を尊敬できるようになりたい。	82.2%	−0.09
9	自分は全くだめな人間だと思うことがある。	96.0%	−0.07
10	何かにつけて、自分は役にたたない人間だと思う。	14.6%	−0.31#
	（特性的自己効力感尺度）		
1	自分が立てた計画はうまくできる自信がある。	1.3%＊	0.37#
2	しなければならないことがあっても、なかなかとりかからない。	37.0%	−0.15
3	初めはうまくいかない仕事でも、できるまでやり続ける。	34.9%	0.26
4	新しい友達を作るのが苦手だ。	85.6%	0.14
5	重要な目標を決めても、めったに成功しない。	6.6%	−0.33#
6	何かを終える前にあきらめてしまう。	47.5%	−0.32#
7	会いたい人を見かけたら、向こうから来るのを待たないでその人のところへ行く。	52.0%	−0.08
8	困難に出会うのを避ける。	73.8%	−0.04
9	非常にややこしく見えることには、手を出そうとは思わない。	76.0%	−0.07
10	友達になりたい人でも、友達になるのが大変ならばすぐに止めてしまう。	70.1%	−0.13
11	面白くないことをする時でも、それが終わるまでがんばる。	4.7%＊	0.41#
12	何かしようと思ったら、すぐにとりかかる。	89.1%	−0.14
13	新しいことを始めようと決めても、出だしでつまずくとすぐにあきらめてしまう。	60.4%	0.01
14	最初は友達になる気がしない人でも、すぐにあきらめないで友達になろうとする。	83.4%	−0.07
15	思いがけない問題が起こった時、それをうまく処理できない。	30.4%	−0.12
16	難しそうなことは、新たに学ぼうと思わない。	62.0%	−0.16
17	失敗すると一生懸命やろうと思う。	0.8%＊	0.49#
18	人の集まりの中では、うまく振舞えない。	12.6%	−0.19
19	何かしようとする時、自分にそれができるか不安になる。	4.9%＊	−0.47#
20	人に頼らない方だ。	3.7%＊	0.38#
21	私は自分から友達をつくるのがうまい。	7.4%	0.16
22	すぐにあきらめてしまう。	81.5%	−0.24
23	人生で起きる問題の多くは処理できるとは思えない。	47.4%	0.04
	（自己受容測定尺度）		
1	年齢	36.5%	0.29
2	性別	29.6%	0.06
3	体力	14.8%	0.49#
4	健康状態	92.2%	0.32#
5	顔立ち	24.0%	0.45#
6	体つき	40.3%	0.28
7	知性（学力）	1.8%＊	0.59#
8	運動能力	1.4%＊	0.56#

9	服装	0.2%＊	0.46#
10	職業（学生・主婦・無職などの場合も含む）	43.1%	0.26
11	経済状態	2.7%＊	0.43#
12	性的能力（魅力）	0.5%＊	0.48#
13	家族	91.5%	0.12
14	住居	79.3%	0.17
15	人間関係	44.3%	0.29
16	生き方	21.8%	0.39#
17	社会的地位（立場）	30.3%	0.37#
18	やさしさ	0.6%＊	0.51#
19	まじめさ	3.0%＊	0.39#
20	明るさ	6.8%	0.34#
21	積極性（自分から進んで行動すること）	41.1%	0.24
22	協調性（人との関係がうまくやれること）	25.5%	0.18
23	情緒安定度（気持ちがいつも落ち着いていること）	59.7%	0.25
24	忍耐力（がまんする力）	36.8%	0.37#
25	指導力（リーダーとして人をひっぱる力）	2.7%＊	0.43#
26	のんきさ	5.4%	0.39#
27	決断力（迷わないで物事を決める力）	63.0%	0.20
28	思いやり	0.5%＊	0.56#
29	責任感	0.6%＊	0.57#
30	やる気	12.6%	0.31#
31	男または女としての自分	1.3%＊	0.50#
32	親に対する子どもとしての自分	0.1%＊	0.49#
33	兄弟の一員としての自分（一人子の場合も含む）	0.2%＊	0.46#
34	過去の自分	4.6%＊	0.39#
35	現在の自分	67.1%	0.35#

（Self-Esteem 尺度）

1	私は他人より劣っていると感じる。	16.3%	−0.44#
2	私は裕福で幸せだと思っている。	4.1%＊	0.38#
3	私は新しい環境に慣れるのがしばしば苦手である。	6.4%	−0.37#
4	私は会う人にはみな親しさをいつも感じる。	48.3%	0.11
5	私は自分の間違いや欠点をいつも責めるくせがある。	48.8%	−0.07
6	私は恥ずかしさ、他人のあら探し、罪の意識、後悔とは無縁である。	12.0%	0.14
7	私は自分の価値や長所を証明する必要があると強く感じる。	35.7%	0.21
8	私は毎日の生活に大きな喜びと魅力を感じている。	22.0%	0.22
9	私は他人が自分に対して感じていることや言うことが非常に気になる。	70.6%	−0.10
10	私は他人の間違いをそのままにしておくことができる。	20.8%	−0.19
11	私は認められることや、受け入れられることを強く望んでいる。	39.6%	0.14
12	私は気持ちの焦り、悩み、不満とはたいてい無縁である。	28.1%	0.25
13	私は失敗すると、怒りや劣等感を感じる。	75.9%	0.05
14	私はいつも自信をもって新しいことに挑戦できる。	2.6%＊	0.44#
15	私は他人を非難したり、文句を言ったりすることがよくある。	53.9%	−0.16
16	私は自分のことは自分で決定し、実行する。	6.1%	0.42#
17	私は他人に富や名声をゆずりわたすことがよくある。	64.9%	−0.15

18	私は自分がしたことに責任をもつ。	0.0%＊	0.64#
19	私は外面を保つために、大げさに言ったり嘘をついたりする傾向がある。	18.8%	0.19
20	私は自分の希望や要求を優先することができる。	14.7%	0.28
21	私は自分の能力、地位、成績を低く評価しがちである。	29.8%	−0.31#
22	私は自分の意見や信念を、自信をもって言うことができる。	0.6%＊	0.58#
23	私はいつも自分の間違いや欠点を否定したり、言い訳したり、正当化したり、または合理化したりする。	19.7%	0.22
24	私は非常によく他人を批判したりけなしたりする。	39.8%	0.09
25	私は愛情、怒り、敵意、恨み、喜びなどを思いのままに表現できる。	68.2%	0.11
26	私は他人からの意見や評判、態度にとても傷つきやすい。	39,0%	0.13
27	私は嫉妬やねたみ、疑いを抱くことはあまりない。	18.5%	0.22
28	私は人を喜ばせることにかけてはプロ並みである。	22.1%	0.10
29	私は人種、民族、宗教に偏見をもたない。	1.9%＊	0.37#
30	私は本当の自分を知られるのが怖い。	35.9%	0.01
31	私は他人に対して愛想がよく、思いやりがあり、親切である。	83.6%	−0.10
32	私は自分の不利益や問題、間違いをよく他人のせいにする。	5.9%	0.24
33	私は一人でいるのが好きで、不安になったり寂しく感じたりすることはめったにない。	41.0%	0.10
34	私は完全主義者である。	20.7%	0.12
35	私は困惑したりお返しに悩んだりせずに、ほめ言葉や贈り物を受け取る。	4.1%＊	0.27
36	私は食べたり飲んだり、タバコを吸ったり、話したりすることをやめたいときにやめることができない。	64.2%	0.01
37	私は他人の成功や幸運を好ましく思う。	41.2%	0.11
38	私は間違いや失敗が怖いので、新たな挑戦を避けがちである。	79.5%	−0.06
39	私はよく、家族や友人の行動に当惑させられる。	5.3%	0.21
40	私は恥ずかしいと感じたり劣っていると感じたりすることなく、自分の間違いや欠点、短所を認める。	41.1%	0.16
41	私は自分の行動、意見、信念を言い訳することがよくある。	79.0%	−0.11
42	私は反対や拒否をされても、「けなされた」または拒絶されたとは感じない。	68.8%	0.11
43	私は賛成してもらっていることを確かめたいと思う。	13.5%	0.24
44	私は新しい考えや計画を熱心に取り入れる。	48.8%	0.19
45	私は他人と比較することで自分の価値を決める習慣がある。	44.2%	−0.13
46	私はどんな考えでも認めることができる。	40.3%	0.22
47	私は自分の地位や成績など、自分自身についてよく自慢する。	53.6%	−0.13
48	私は何事でも自分自身で決定して、自分の好きなようにする。	41.1%	0.28
49	私は細かいことを気にしない性格である。	62.8%	0.01
50	私は他人と同じぐらいできる、または他人よりも優れていると証明する必要はない。	40.7%	0.01
51	私は人から注目されたり、または自分の行動を好かれたりしようとは思っていない。	28.0%	0.12
52	私は自分自身に対して思いやりがあり、自分を愛している。	5.4%	0.37
53	私は他人が自分よりうまくやったり、お金があったり、人気もあるからといって、他人が自分より優れているとは思わない。	76.2%	0.17
54	私は自分の好き嫌いをはっきり言う。	12.4%	0.26
55	私はほめられることで自分を好ましく思いたいとは思わない。	50.0%	−0.19
56	私はいつも人を喜ばせる必要はないと思う。	87.0%	0.01
57	私は自分や家族がしたこと、持っているものを自慢しない。	63.4%	−0.04

＊: $p<5\%$　#: $|r|>0.3$

表3　総合結果

（自尊感情尺度）

次の特徴のおのおのについて、あなた自身にどの程度あてはまるかをお答えください。他からどう見られているかではなく、あなたが、あなた自身をどのように思っているかを、ありのままにお答えください。

あてはまる・・・・・・・5
ややあてはまる・・・・・4
どちらともいえない・・・3
ややあてはまらない・・・2
あてはまらない・・・・・1

●色々な良い素質をもっている。　1　2　3　4　5

（特性的自己効力感尺度）

この文章は一般的な考えを表しています。それがどのくらいあてはまるかを教えてください。

そう思う・・・・・・・・5
まあそう思う・・・・・・4
どちらともいえない・・・3
あまりそう思わない・・・2
そう思わない・・・・・・1

●自分が立てた計画はうまくできる自信がある。　1　2　3　4　5
●面白くないことをする時でも、それが終わるまでがんばる。　1　2　3　4　5
●失敗すると一生懸命やろうと思う。　1　2　3　4　5
●何かしようとする時、自分にそれができるかどうか不安になる。　1　2　3　4　5
●人に頼らない方だ。　1　2　3　4　5

（自己受容測定尺度）

以下に示された「今のあなた自身のこと」について、現在どのように思っていますか。当てはまるところに○をつけてください。なお回答は他人からどう言われているかにかかわらず、あなた自身がどう思っているかで行ってください。また、あまり考えすぎないで、なるべく第一印象で答えてください。

それでまったくよい、そのままでよい・・・・5
それでまあまあよい、それでかまわない・・・4
どちらでもない、わからない・・・・・・・・3
それでは少しいやだ、少し気になる・・・・・2
それではまったくいやだ、気に入らない・・・1

●知性（学力）　1　2　3　4　5
●運動能力　1　2　3　4　5

●服装 1 2 3 4 5
●経済状態 1 2 3 4 5
●性的能力（魅力） 1 2 3 4 5
●やさしさ 1 2 3 4 5
●まじめさ 1 2 3 4 5

●指導力（リーダーとして人をひっぱる力） 1 2 3 4 5
●思いやり 1 2 3 4 5
●責任感 1 2 3 4 5
●男または女としての自分 1 2 3 4 5
●親に対する子どもとしての自分 1 2 3 4 5
●兄弟の一員としての自分（一人子の場合も含む） 1 2 3 4 5
●過去の自分 1 2 3 4 5

（Self-Esteem 尺度）

以下の質問項目について、あなたにどの程度あてはまるか考え、最も近いものに○をつけてください。

あてはまる・・・・・・・5
ややあてはまる・・・・・4
どちらともいえない・・・3
ややあてはまらない・・・2
あてはまらない・・・・・1

●私は裕福で幸せだといつも思っている 1 2 3 4 5
●私はいつも自信をもって新しいことに挑戦できる。 1 2 3 4 5
●私は自分がしたことに責任をもつ。 1 2 3 4 5
●私は自分の意見や信念を、自信をもって言うことができる。 1 2 3 4 5
●私は人種、民族、宗教に偏見をもたない。 1 2 3 4 5